

平成 29 年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①基礎学力の育成を軸に、社会的・職業的に自立できる人間の育成に向け、教育課程の工夫・改善に取り組むとともに、授業力を高めるための組織的取組みをすすめる。</p> <p>②学校行事や生徒会活動における生徒の主体的な活動の促進を図る。</p>	<p>①授業改善のための研究会を年数回実施し、生徒が主体的・協働的な学びを通して基礎学力を身に付けるための工夫を進める。</p> <p>基本の定着を図るための田奈ゼミ、発展的な内容に意欲的に取り組む生徒のための進学研究会を通して基礎学力の育成を図る。</p> <p>①生徒の実態に合わせた教育課程の編成・授業の工夫・教育環境の整備を行う。</p> <p>②学校行事により主体的に参加し、仲間との協働的な活動を通じて人間力の育成を図る。</p>	<p>①教員だけによる研究会を複数回実施することで、外部講師を招聘して行う研究会の質を高める。</p> <p>①田奈ゼミ及び進学研究会の取組みを年間を通して組織的にすすめる。</p> <p>①教育課程の見直し及び授業の相互見学を通し、授業の工夫点等を共有する。</p> <p>①生徒にとって、スムーズに授業に取り組めるような指導・環境整備を行う。</p> <p>②各行事において中心となる生徒の意見・活動を重視しながら、一部の生徒だけでなく、全校生徒が主体的に行事に参加できるよう環境を整える。</p>	<p>①教員だけで実施する研究会を何回実施したか。</p> <p>田奈ゼミと進学研究会を教員間の連携を図って実施したか。</p> <p>①教育課程の見直しを行ったか。</p> <p>授業の工夫点を共有できたか。</p> <p>生徒がより授業に集中して取り組むことができたか。</p> <p>②生徒の行事への参加率。</p> <p>②体育祭の応援団、文化祭の有志団体、駅伝大会の参加人数。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①生徒一人ひとりが抱える課題を的確に把握し、きめ細かい個別支援を行うための仕組みづくりを進める。</p> <p>②部活動における生徒の主体的な活動に向けた支援を進める。</p>	<p>①教職員が生徒と向き合う時間を確保し、生徒理解に努めるとともに、きめ細かな個別指導・支援に向けた教職員の資質向上のための体制づくりを図る。</p> <p>②部活動の活性化に向け、全校生徒の4割程度が部活動に加入することを目指し働きかけを行うとともに、部活動指導のための体制・環境を整える。</p>	<p>①休み時間等授業以外における生徒とのコミュニケーション機会を充実させ、情報を共有する。</p> <p>①会議・研修事業のスリム化を図る。</p> <p>①SC、SSW、SCCをはじめ、外部人材の活用及び情報連携を図る。</p> <p>②各顧問が活動場所で指導できる時間を確保し、生徒の日々の活動を重視し、評価する。また、各行事や対外試合における部員の活躍を学校全体で共有し、評価することで部活動に継続して参加する生徒を増やしていく。</p>	<p>①職員室、学年室等における職員間の情報共有及び連絡黒板等の活用の度合い。</p> <p>①会議・研修事業の回数、時間。</p> <p>①SC、SSW、SCC等の活用実績。</p> <p>②年度末の部活加入率が4割程度。</p> <p>②途中退部者の減少。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>生徒の実態やニーズを的確に把握し、個人の努力のみで達成できない社会的バリアの除去を含む視点からの支援を併せて行うとともに、そのための仕組みづくりを進める。</p>	<p>生徒一人ひとりが適性や資質に見合う進路を選択することにより、社会的自立を実現できるよう多角的な支援を行う。またそのための仕組みづくりを継続する。</p>	<p>・担任以外に就職・進学担当者も個別面談やワークショップを実施し、ミスマッチのない進路実現の支援を行う。</p> <p>・社会的バリアを持つ生徒に対しては、キャリア支援センターを通じて外部機関と連携し、進路実現を図る。</p>	<p>・進路決定状況。</p> <p>・進路未決定者の減少。</p>
4	地域等との協働	<p>地域の様々な社会資源との協働を通して、地域に根ざした学校づくりを進めるとともに、地域貢献活動を充実させる。</p>	<p>地域の外部機関との連携を軸に、生徒の社会的実践力を向上させるための機会を充実させる。</p>	<p>・地域貢献活動など、地域社会への参画の機会を設定する。</p> <p>・緑法人会等の外部機関と連携し、キャリア教育、就職支援を行う。</p>	<p>・地域貢献活動の取組み状況。</p> <p>・職場見学体験、3年面接指導（8月）等の実施状況。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>学校が抱える課題に対して、教職員が意欲を持ち、主体的に教育に取り組めるための「生き生きとした職場づくり」を図る。</p>	<p>組織的な業務遂行をさらに推進しつつ、ベテラン教職員と若手教職員が切磋琢磨する機会を充実させ、人材育成につなげる。</p>	<p>・初任者研修において指導教員のみならず、多くのベテラン教職員との研修の機会を充実する。</p> <p>・生徒の個別対応時において、複数対応を原則としながら、指導のノウハウ等を継承する。</p>	<p>・初任者研修におけるベテラン教員の助言回数。</p> <p>・担任・副担任の配置、グループ内業務分担の工夫及び個別対応時のペアリングの配慮。</p>